

令和4年9月9日開催

## 令和4年度第1回上越市博物館協議会資料 (歴史博物館)

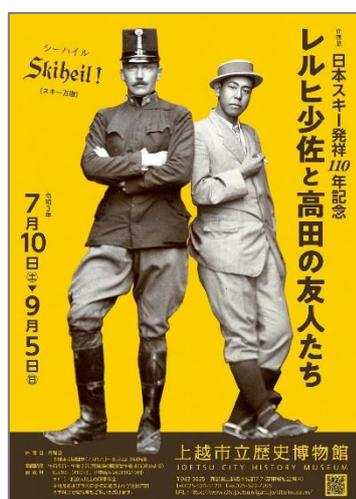
- |                       |                  |        |
|-----------------------|------------------|--------|
| (1) 開館4年目及び令和3年度事業の成果 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1～12頁  |
| (2) 令和5年度事業計画(案)      | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 13～14頁 |

## 上越市立歴史博物館 開館4年目及び令和3年度事業の成果

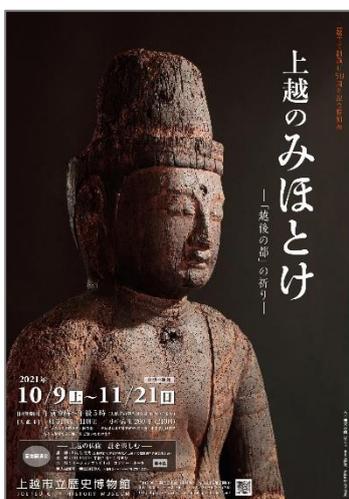
### 1 展覧会事業 【令和3年度】

展覧会名	会 期	内 容	入館者数（うち展覧会観覧者数）
《逸品展示》 新収蔵品展	4月1日（木） ～ 6月13日（日） （67日間） ※観桜会・GW期間 無休	博物館建設前の高田図書館は地域の歴史資料を収集する役割も担っていた。伊達政宗や堀秀治の書状、明治天皇が座った椅子、昭和初期の観桜会ポスターなど、高田図書館から博物館へ引き継がれた資料を中心に紹介した。	目標：29,400人 入館者数： 19,839人 (3,264人) 満足度：100%
《企画展》 日本スキー発祥 110年記念 レルヒ少佐と高 田の友人たち	7月10日（土） ～ 9月5日（日） （52日間） ※観蓮会期間無休	明治44年（1911）、レルヒ少佐による日本初の本格的なスキー指導が行われ、スキーは上越から全国へ広がった。レルヒの滞在は1年余りであったが、一般市民とも交流を深めている。本展では、レルヒと高田の友人たち（画家・新聞記者など）との交流の様子から、スキー指導にとどまらないレルヒの人柄や側面を紹介した。	目標：14,500人 入館者数： 9,742人 (2,090人) 満足度：100%
《特別展》 上越のみほとけ —「越後の都」の 祈り—	10月9日（土） ～ 11月21日（日） （44日間） ※会期中無休	かつて上越市には越後国の政治・経済、そして文化の中心である越後国府がおかれ、「越後の都」として栄えていた。そのため、市内には優れた文化財が数多く伝来している。本展では、市内の文化財のうち重要文化財・県指定文化財をはじめとする仏像・懸仏の優品を一堂に会し、繁栄した「越後の都」の文化を紹介した。	目標：13,700人 入館者数： 15,282人 (6,808人) 満足度：99%
《企画展》 探検！むかしの くらし	1月4日（火） ～ 3月13日（日） （59日間）	小学校3年生のカリキュラムに対応した民具展示。昭和初期から昭和40年代までのくらしを豊富な民俗資料で紹介した。	目標：8,550人 入館者数： 5,547人 (2,121人) 満足度：100%
常設展のみ	(88日間)	常設展示「越後の都」の展示替えを年4回実施する。	目標：8,150人 入館者数： 10,765人 (2,031人) 満足度：95.2%

- ・開館日数：321日→310日  
 ※令和3年8月30日に県が新型コロナウイルス感染症に関する特別警報を発令したため、9月3日から9月16日まで臨時休館を行った。
- ※令和4年度の観桜会が前倒しで実施されることになったため、令和4年度逸品展示「御所参内・聚楽第行幸図屏風」を3月26日から開催した。また、観桜会期間中であるため、3月28日を臨時開館した（この間の入館者数・満足度は、常設展に含めて表記）。
- ・目標入館者数は74,300人に対し、実績は61,175人（このうち有料観覧者：12,555人、無料観覧者：3,759人、ラウンジ等への無料入館者：44,861人）となった。
- ・目標満足度（常設展示のみの期間を含む）80%以上に対し、実績は95.2%となり、目標を達成することができた。（※満足度は「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満足」の項目から「満足」「やや満足」と回答した人の割合）



令和3年度  
企画展「レレヒ少佐」ポスター



令和3年度  
特別展「みほとけ」ポスター



令和3年度  
企画展「むかしの暮らし」チラシ

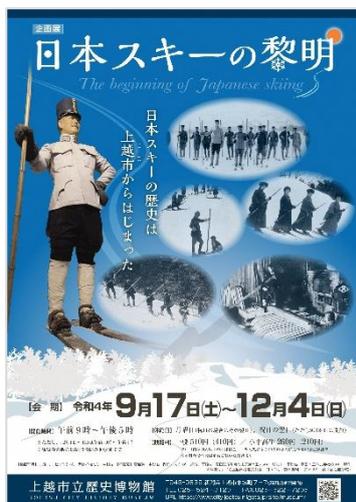
【令和4年度】

展覧会名	会期	内容	入館者数（うち展覧会観覧者数）
《逸品展示》 御所参内・聚楽 第行幸図屏風	3月26日（土） ～ 6月12日（日） （66日間） ※観桜会・GW期間 無休	天正16年（1588）、天下人となった豊臣秀吉は聚楽第に後陽成天皇を迎えるため、御所に参内した。この日の様子を描いた「御所参内・聚楽第行幸図屏風」を3年ぶりに当館で公開する。	目標：29,000人 入館者数（R4のみ）： 25,820人 （4,314人） 満足度：97.4%
《企画展Ⅰ》 森成麟造 —上越考古学の 先覚者—	7月2日（土） ～ 8月28日（日） （55日間） ※観蓮会期間無休	もりなりりんぞう 森成麟造は、明治44年（1911）に高田で開院、医業の傍らで遺跡調査・資料収集に取り組み、上越地域の考古学研究に業績を残した。夏目漱石の主治医としても知られ文化活動にも熱心であった。本展では、麟造の生涯と上越の考古学研究における業績を森成家所蔵資料や当館所蔵の森成コレクションを中心に紹介する。	目標：13,200人 入館者数（7月分）： 6,242人 （1,426人） 満足度：集計中

《企画展Ⅱ》 文化財指定記念 日本スキーの黎明	9月17日(土) ～ 12月4日(日) (66日間)	上越市では、スキー用具やスキー製作の道具・文献など、日本スキー黎明期における資料群を所蔵している。本展では、令和3年度に市文化財に指定された「日本スキー関係資料」を中心に、日本スキーのはじまりからスキー産業化・スキーの全国的普及という、黎明期の日本スキー界をけん引した上越の役割を紹介する。	目標：12,000人
《企画展Ⅲ》 探検！むかしの 暮らし	1月4日(水)～ 3月12日(日) (58日間)	小学校3年生のカリキュラムに対応した民具展示。昭和初期から昭和40年代までの暮らしを豊富な民俗資料で紹介する。	目標：8,500人
常設展のみ	(67日間)	常設展示「越後の都」の展示替えを年4回実施する。	目標：7,300人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数：311日→観桜会延長に伴い312日に変更（令和4年4月11日を臨時開館）</li> <li>・目標入館者数は70,000人（企画展開催期間：62,700人、常設展のみの期間：7,300人）。</li> <li>・目標満足度を80%とする。（満足度は「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満足」の項目から「満足」「やや満足」と回答した人の割合）</li> </ul>			



令和4年度  
企画展「森成麟造」チラシ



令和4年度  
企画展「スキーの黎明」チラシ

＜開館以来の入館数について＞

		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
展示 観覧者数	うち有料	12,682	16,998	8,312	11,683	12,555	16,314
	うち無料	4,316		3,371		3,759	
無料ゾーン利用者数 (ラウンジ・カフェ・屋上)		65,743		33,875		44,861	
総入館者数		82,741		45,558		61,175	

<開館 3、4 年目の入館数について>

		開館 3 年目 (R2/7/21~R3/7/20)		開館 4 年目 (R3/7/21~R4/7/20)		増減	
展示室 観覧者数	うち有料	10,066	14,026	14,175	18,144	4,109	4,118
	うち無料	3,960		3,969		9	
無料ゾーン利用者数 (ラウンジ・喫茶・屋上)		42,891		50,457		7,566	
総入館者数		56,917		68,601		11,684	

<催事期間の入館者数>

催事名		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度 ※ ( ) は 4/1 ~4/15 の実績	備考
観桜会	総入館者数	5,451	11,289	15,250 (14,323)	通常開催期間：4/1~4/15 令和 4 年度：3/26~4/17
	1日あたりの 平均入館者数	363	753	726 (955)	
GW	総入館者数	0	2,338	3,173	令和 2 年度：新型コロナの影響により臨時休館 令和 3 年度：4/29~5/5 令和 4 年度：4/29~5/5
	1日あたりの 平均入館者数	0	334	453	
観蓮会※	総入館者数	8,123	7,735	集計中	令和 2 年度：7/18~8/23 令和 3 年度：7/17~8/22 令和 4 年度：7/16~8/21
	1日あたりの 平均入館者数	220	209	集計中	

※催事名は令和元年度まで「蓮まつり」、令和 2 年度以降は「観蓮会」。

2 教育普及事業

【令和 3 年度】

(1) 講演会の実施

展覧会名	内 容
《特別展》 上越のみほとけ—「越後の都」の祈り	日 時：令和 3 年 10 月 16 日 (土) 14:00~15:40 講 師：川村知行氏 (上越教育大学名誉教授) 演 題：「上越の仏像 謎を楽しむ」 会 場：リージョンプラザ上越 コンサートホール 参加費：無料 定 員：100 人 参加者数：120 人

(2) 展示解説会の実施

展覧会名	内 容
《企画展》 日本スキー発祥 110 年記念 レルヒ少佐と高田の友人たち	日 時：令和 3 年 7 月 17 日 (土)、8 月 7 日 (土) 時間はいずれも 11:00~12:00 参加費：無料 (ただし、観覧料が必要) 参加者数：延べ 34 人

《特別展》 上越のみほとけ―「越後の都」の祈り	日 時：令和3年10月23日（土）、11月6日（土） 時間はいずれも10:00～11:00 会 場：歴史博物館 講堂 参加費：無料（ただし、観覧料が必要） 参加者数：延べ134人 ※コロナ対策としてスライドトークを実施
《企画展》 探検！むかしのくらし	見学学校数（市内）：29校（28校） 見学児童数（市内）：990人（954人） ※新型コロナウイルスの影響により、小学校12校365人が見学中止。
岡沢拠点収蔵施設公開	日 時：令和3年8月10日（火）、11日（水） 時間はいずれも10:00～16:00 参加費：無料 参加者数：延べ127人

※土日祝日、観桜会・ゴールデンウィーク・観蓮会期間中は、常設展示室に展示解説員を配置し、随時解説対応を行った。

### （3）視察・団体受け入れ

視察・団体の申込みの際に展示解説の依頼があった場合、随時対応を行った。

（新型コロナウイルス感染防止のため、解説対応は市内団体に限定して実施）

・人数：17件451人（令和2年度：17件760人）

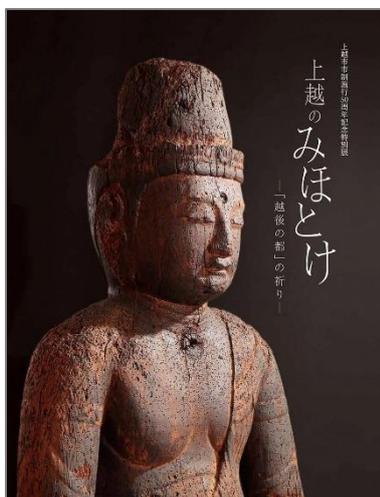
### （4）イベントの実施

イベント名	内 容
「国際博物館の日」記念事業に伴う施設無料開放	内 容：ICOM（国際博物館会議）の「国際博物館の日」記念事業に協力するため、高田城址公園内の歴史博物館・高田城三重櫓・小林古径記念美術館を無料開放した。 期 日：令和3年5月18日（火） 観覧者数：335人（参考：高田三重櫓153人）
教育コラボ2021 学び愛フェスタ関連イベント「上越のみほとけ―「越後の都」の祈り 子ども向け展示解説会」	内 容：学び愛フェスタ関連イベントとして、特別展「上越のみほとけ」子ども向け解説会を実施した。 日 時：令和3年11月20日（土） 10:00～10:40／14:00～14:40の1日2回 会 場：歴史博物館 講堂 対 象：小中学生とその保護者 参加費：無料 参加者数：延べ69人

<p>教育コラボ 2021 学び愛フェスタに伴う 施設無料開放</p>	<p>内 容：学び愛フェスタの開催にあわせて、市内小中学生 と同伴の保護者を対象に歴史博物館・高田城三 重櫓・日本スキー発祥記念館を無料開放した。 (高田城三重櫓・日本スキー発祥記念館は歴史博物館所 管施設)</p> <p>期 日：11月20日(土)</p> <p>観覧者数：61人 (参考：高田三重櫓46人、日本スキー発祥記念館4人)</p>
---	--

(5) 刊行物の発行

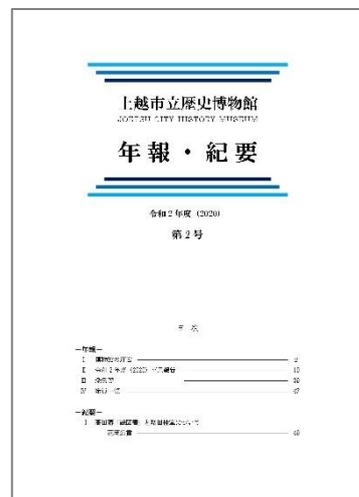
刊行物名	内 容
『特別展 上越のみほとけ —「越後の都」の祈り— 展覧会図録』	<p>展覧会図録として作成。 (規格：A4判変形〈297mm×225mm〉64頁(カラー48頁/モノクロ16頁)/印刷部数：1,000部/頒布価格：1,000円)</p>
『企画展 探検!むかしの くらし 探検ブック』	<p>子ども向けのワークシートとして作成。内容は小学3年生の社会科学学習にあわせている。来館した子供たちに無償配布した。 (規格：A5判16頁/印刷部数：2,000部)</p>
『上越市立歴史博物館 年報・紀要 第2号』 (デジタル版)	<p>掲載内容： (1) 年報 I 博物館の運営 II 令和2年度(2020)事業報告 III 条例等 IV 職員一覧 (2) 紀要 I 高田藩「絵図書」と増田桂堂について(花岡副館長執筆)</p> <p>※歴史博物館ホームページ上で公開 <a href="https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/nenpo.html">https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/nenpo.html</a> (規格：A4判60頁)</p>



特別展「上越のみほとけ」図録



企画展「むかしのくらし」探検ブック



「年報・紀要 第2号」(表紙)

### (6) 博物館実習生の受入れ

博物館実習は小林古径記念美術館と共同で実施した。

実習期間	実習生の所属大学	内 容
令和3年8月3日(火) ～8月7日(土) [5日間 30時間]	京都女子大学文学部 史学科 ※申込者1名	講義：「資料の保存と管理」「展示論」など 実習：「資料の取扱い」「資料の整理」「資料台帳作成 について」など ※受講条件は、市内出身者もしくは市内の大学に通 う博物館学芸員を志望する学生

### (7) 中学生職場体験の受入れ

例年、上越市「ゆめ」チャレンジ事業（上越市教育委員会、上越市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会主催）に協力し、市内中学生の職場体験を行っている。令和3年度は、新型コロナの影響により職場体験は中止となった。

### (8) 出前講座・職員派遣等

講座名	内 容
【出前講座】 高田東ロータリークラブ講演会	期日：令和3年5月31日(月) 演題：上越近代史のあらまし—石油産業・信越 線・第13師団誘致— 会場：デュオ・セレッソ 参加者数：30人
【出前講座】 上越市広報対話課主催 高田地区 PR 動画制作プロジェクトチーム研 修会	期日：令和3年5月31日(月) 演題：上越の歴史 会場：歴史博物館・高田市街 参加者数：14人
【出前講座】 上越市教育委員会社会教育課主催 謙信 KIDS プロジェクト「城と武将」	期日：令和3年6月5日(土)、7月10日(土)、 10月24日(日) 演題：春日山城、福島城、高田城 会場：埋蔵文化財センター、春日山城、福島城資 料館、古城小学校、歴史博物館、高田城址 公園 参加者数：延べ54人
【職員派遣】 糸魚川市文化振興課主催 講演会	期日：令和3年6月12日(土) 演題：糸魚川市の北前船と廻船業 会場：糸魚川市民会館 参加者数：27人
【職員派遣】 新潟県社会福祉協議会主催 シニアカレッジ新潟 基礎応用課程2年次	期日：令和3年7月16日(金) 演題：新潟県の歴史(上越編) 会場：高陽荘 参加者数：15人

<p>【出前講座】 上越市社会教育課 谷浜・桑取地区公民館事業「故郷 上越市を訪ねる」</p>	<p>期日：令和3年7月20日（火） 演題：上越市の歴史を学ぶ 会場：歴史博物館 参加者数：20人</p>
<p>【職員派遣】 新潟市教育委員会生涯学習センター主催 にいがた市民大学</p>	<p>期日：令和3年7月28日（水） 演題：高田築城 豊臣・徳川の支配と「越後の都」 会場：新潟市生涯学習センター 参加者数：80人</p>
<p>【出前講座】 上越市社会教育課 金谷地区公民館事業</p>	<p>期日：令和3年8月10日（日）、8月17日（日） 演題：日本スキー発祥から上越近代史を学ぶ 会場：日本スキー発祥記念館、歴史博物館 参加者数：延べ20人</p>
<p>【職員派遣】 高田南城高等学校社会人講座 「古典と文化財」</p>	<p>期日：令和3年10月25日（月） 演題：上越のみほとけ鑑賞会 会場：歴史博物館 参加者数：40人</p>
<p>【出前講座】 和田地区振興協議会 二水福祉クラブ すこやかサロン和田</p>	<p>期日：令和3年11月5日（金） 演題：高田城築城の歴史 会場：和田地区公民館 参加者数：20人</p>
<p>【出前講座】 上越市創造行政研究所 信越県境エリアの魅力を探るトークイベント</p>	<p>期日：令和3年11月5日（金） 演題：上越発、日本スキーことはじめ 会場：日本スキー発祥記念館 参加者数：—（オンライン勉強会）</p>
<p>【職員派遣】 新潟大学非常勤講師</p>	<p>期日：令和4年1月19日（水）、1月26日（水）、 2月2日（水） 演題：近世越後諸地域の歴史と社会 会場：新潟大学 参加者：延べ450人</p>

#### （9）人権・同和問題研修の実施

常設展示「越後の都」を会場として、上越市教育委員会学校教育課主催による小中学校および教育委員会職員対象（学校管理職、人権教育担当教諭、市教育委員会職員、上越教育事務所職員）の人権・同和問題研修会を行った。

- ・期日：令和3年5月7日（金）、5月13日（木）、5月18日（火）の3日間
- ・人数：延べ75人

その他、県立高田商業高等学校の依頼により、同校教職員の人権・同和問題研修会を行った。

- ・期日：令和4年1月5日（水）
- ・人数：11人

【令和4年度】

(1) 展示解説会の実施

展覧会名	内 容
《企画展》 森成麟造—上越考古学の先覚者—	日 時：令和4年7月23日（土）、8月7日（日） 時間はいずれも11:00～12:00 参加費：無料（ただし、観覧料が必要） 参加者：31人
《企画展》 文化財指定記念 日本スキーの黎明	日 時：令和4年10月8日（土）、11月20日（日） 時間はいずれも11:00～12:00 参加費：無料（ただし、観覧料が必要）
《企画展》 探検！むかしの暮らし	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、小学校の希望に応じて実施する予定
岡沢拠点収蔵施設公開	日 時：令和4年5月4日（祝・水）、8月13日（土）、 8月14日（日）の3日間 時間はいずれも10:00～16:00 参加費：無料 参加者数：162人

※土日祝日、観桜会・ゴールデンウィーク・観蓮会期間中は、常設展示室に展示解説員を配置し、随時解説対応を行う。

※このほかに団体等で依頼があった場合、随時展示解説を行う。

※新型コロナの状況によって中止の場合あり。

(2) イベントの実施

イベント名	内 容
「国際博物館の日」記念事業に伴う施設無料開放	内 容：ICOM（国際博物館会議）の「国際博物館の日」記念事業に協力するため、歴史博物館・高田城三重櫓・小林古径記念美術館を無料開放した。 期 日：令和4年5月18日（水） 観覧者数：308人（参考：高田三重櫓249人）
教育コラボ2022 学び愛フェスタ 関連イベント 子ども向け展示解説会「日本スキーのはじまりと上越」	内 容：学び愛フェスタ関連イベントとして、企画展「日本スキーの黎明」の子ども向け展示解説会を実施する。 日 時：令和4年11月19日（土） 11:00～12:00 対 象：小中学生とその保護者 参加費：無料
教育コラボ2022 学び愛フェスタに伴う施設無料開放	内 容：市内小中学生と同伴の保護者を対象に歴史博物館・高田城三重櫓・日本スキー発祥記念館を無料開放する。 期 日：令和4年11月19日（土）

### (3) 刊行物の発行

刊行物名	内 容
『企画展 森成麟造—上越考古学の先覚者—』パンフレット	企画展パンフレットとして作成。 (規格：A4判24頁、印刷部数：1,000部、頒布価格：400円)
『探検！むかしのくらし』探検ブック	小学3年生の社会科学習にあわせた子ども向けワークシートを作成し、来館する小学生3年生に無償配布する。令和4年度版は、先生方からのアドバイスを受けてA5判・16頁からA4判・8頁に変更する。(規格：A4判8頁、印刷部数：2,500部)
『スキー資料目録・研究』	令和3年度に黎明期の日本スキー資料297点が上越市文化財に指定された。この資料群を中心に、スキー資料の評価・価値を発信するための研究論文を収録した目録を作成する。 (規格：A4判64頁(カラー24頁/モノクロ40頁)、印刷部数：1,000部、頒布価格：600円)
『年報・研究紀要 第3号(デジタル版)』	令和3年度事業をまとめた年報と研究紀要を発行する。紙ベースの印刷は行わず、PDFデータをホームページ上で公開する。

### (4) 博物館実習の受入れ

博物館実習は、小林古径記念美術館と共同で実施する。

実習期間	実習生の所属大学	内 容
令和4年8月2日(火) ～8月6日(土) [5日間30時間]	中央大学文学部人文 社会学科 ※申込者1名	講義：「資料の保存と管理」「展示論」など 実習：「資料の取扱い」「資料の整理」「資料台帳作成について」など ※受講条件は、市内出身者もしくは市内の大学に通う博物館学芸員を志望する学生

### (5) 中学生職場体験の受入れ

上越市「ゆめ」チャレンジ事業(上越市教育委員会、上越市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会主催)に協力し、市内中学生の職場体験もしくは職業講和(学校訪問)を行う予定。

### (6) 人権・同和問題研修の実施

常設展示「越後の都」を会場として、上越市教育委員会学校教育課主催による小中学校および教育委員会職員対象(学校管理職、人権教育担当教諭、市教育委員会職員、上越教育事務所職員)の人権・同和問題研修会を行った。

- ・期日：令和4年5月6日(金)、5月12日(木)、5月17日(火)の3日間
- ・人数：延べ75人

その他、県立高田商業高等学校の依頼により、同校教職員の人権・同和問題研修会を行う。

- ・期日：令和4年8月24日(水)
- ・人数：10人程度

### 3 調査研究事業

#### 【令和3年度】

##### (1) 民俗資料整理作業

- ・資料の適正管理のため、岡沢拠点収蔵施設の清掃作業を定期的実施した。

##### (2) 歴史・民俗資料収集

- ・購入数 16件 52点（歴史資料2件2点、参考図書14件50冊）
- ・寄贈数 35件 782点（歴史資料11件502点〈このうち1件364点は増田桂堂関係資料〉、民俗資料24件280点）

##### (3) 調査研究事業

- ・令和3年度企画展「レルヒ少佐と高田の友人たち」開催にかかる調査
- ・令和3年度特別展「上越のみほとけ—『越後の都』の祈り—」開催にかかる調査
- ・日本スキー発祥記念館の収蔵資料調査・整理
- ・令和4年度企画展「森成麟造—上越考古学の先覚者—」開催にかかる調査

#### 【令和4年度】

##### (1) 民俗資料整理作業

- ・平成29年度以降の新規受入れ資料のクリーニング・台帳整備を行う。
- ・資料の適正管理のため、岡沢拠点収蔵施設の清掃作業を定期的実施する。

##### (2) 歴史・民俗資料収集（令和4年4月1日～7月31日）

- ・購入数 0件 0点
- ・寄贈数 26件 822点（歴史資料6件604点、民俗資料20件218点）

##### (3) 調査研究事業

- ・令和4年度企画展「森成麟造—上越考古学の先覚者—」開催にかかる調査
- ・令和4年度企画展「日本スキーの黎明」開催にかかる調査
- ・日本スキー発祥記念館の収蔵資料調査・整理

### 4 成果と課題

#### (1) 令和3年度事業の成果

- ・特別展「上越のみほとけ—『越後の都』の祈り—」では、市内の文化財の中から重要文化財の「如来坐像」（医王寺所蔵）・「善導大師立像」（善導寺所蔵）・「一鎮倚像」（称念寺所蔵）をはじめとする仏像・懸仏の優品33点を一堂に会し、「越後の都」として栄えた上越の歴史・文化を紹介した。一般公開される機会が少ない地方仏を展示したこと、会期中は新型コロナウイルスが落ち着いていたこともあり、市内・県内を中心に全国から大勢の来館者に恵まれた。
- ・企画展「レルヒ少佐と高田の友人たち」では、日本スキー発祥110年を記念して、レルヒと日本の友人たちとの交流の様子から、スキー指導にとどまらないレルヒの側面や人柄を丁寧に紹介した。会期終了後は、日本スキー発祥記念館に展示の一部を再現し、展示内容の充実

を図った。

- ・令和3年度から日本スキー発祥記念館で所蔵するスキー資料約4,500点の整理・台帳化に着手し、黎明期の日本スキー資料297点が上越市文化財に指定された。資料整理は令和6年度までの4か年計画で進めており、整理事業完了後には台帳化した日本スキー発祥記念館の資料情報を『スキー資料目録』として刊行する予定である。
- ・例年開催している「探検！むかしのくらし」では、28校990人（令和2年度は44校1,479人）の小学生が見学した。新型コロナウイルス感染症の影響で見学の延期・中止が相次いだが、申込みのあった学校に対しては子ども向けワーシート『探検ブック』を送付し、授業で活用してもらうよう対応した。会期中は、休日に家族連れで来館する児童の姿も多かった。
- ・時宜を得た展覧会の開催によって、市民が地域の歴史や文化に触れる機会を提供し、教護の歴史・文化への理解を深めることができた。
- ・令和2年度には黒岩拠点収蔵施設に保管していた民俗資料を岡沢拠点収蔵施設に移動し、施設の集約と資料の一元管理を進めた。令和3年度からは岡沢拠点収蔵施設の一般公開を行い、国重要有形民俗文化財トブネほか約3万点の民俗資料を鑑賞する機会を提供した。

## （2）今後の課題

- ・入館者目標を達成できなかった要因は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことによる。引き続き、施設の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
- ・収蔵資料や市内の歴史に関する研究を深め、新たな知見の蓄積に努めていくとともに、その成果を市民に還元するため、論文発表や講座・展覧会を実施していく。

令和4年9月9日開催

## 令和4年度第1回上越市博物館協議会資料 (水族博物館)

(1) 開館4年目及び令和3年度事業の成果	・・・・・・・・・・・・・・・・	1～11頁
(2) 令和5年度事業計画(案)	・・・・・・・・・・・・・・・・	12～14頁

## 上越市立水族博物館 開館4年目及び令和3年度事業の成果

### 1 展示の状況

#### (1) 常設展示の状況

【令和3年度】

事業内容	期 間	内 容
マゼランペンギンの繁殖	前年度3月～8月	高病原性鳥インフルエンザの防疫措置として全個体を屋内に収容したため、繁殖が抑制されたが、4羽の繁殖に成功した。
ペンギンフィーディングの再開	4月15日(木)～	新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年1月24日(日)から休止していたペンギンフィーディング(給餌体験)を再開した。
ドルフィンパフォーマンスの実施	4月25日(日)～11月19日(金)	展示に変化を持たせるため、期間毎にテーマ(東京オリンピックにちなんだ「和」、夏期「祭」、秋期「舞」)を変更し、テーマに沿った構成の演示展示を実施した。
オニオコゼ(黄変個体)の展示	4月27日(火)～	上越地先で捕獲されたオニオコゼ(黄変個体)の展示を開始した。
巨大ヒラメの展示	5月7日(金)～	上越地先で捕獲された大型のヒラメ(体長90cm、体重10.8kg)について、タッチングプールでの展示を開始した。
水中ドルフィンパフォーマンスの実施	11月20日(土)～4月5日(木)	屋外でのパフォーマンス実施が困難になる冬の演示展示として、「同調」をテーマとした水中の演示展示を実施した。
マゼランペンギンの展示休止	12月10日(金)～1月7日(金)	近県での高病原性鳥インフルエンザ発生を受け、防疫措置としてマゼランペンギンの展示を休止し、全個体を屋内に収容した。
マゼランペンギンの展示再開	1月8日(土)～	高病原性鳥インフルエンザの発生状況を踏まえ、マゼランペンギンの展示を再開した。
ゴマフアザラシ新規個体の展示	1月8日(木)～	展示の充実と繁殖実現のため、名古屋港水族館とゴマフアザラシ2個体のブリーディングローン契約を締結し、ふれんどプールにおいて同個体の飼育展示を開始した。 ・愛称：ナノハ(雌、平成21年4月1日生) ・愛称：アラシ(雄、平成22年4月14日生)
イワシ給餌イベントの実施	3月19日(土)～	躍動感あふれるイワシの群れの動きを紹介するために、複雑な擬岩を備えるうみがたり大水槽の特徴をいかしたイワシの給餌イベント「舞鰯 Shinyllusion」を開始した。

【令和4年度】

事業内容	期 間	内 容
マゼランペンギンの繁殖	前年度3月～	7月末現在、15羽が生育中である。
ドルフィンパフォーマンスの実施	4月6日(水)～	展示に変化を持たせるため、春期の躍動感、夏期の爽快感など、季節感を付与した構成の演示展示を実施している。
マゼランペンギンの繁殖状況の紹介	6月25日(土)～	マゼランペンギンの繁殖について、より詳しい情報を発信するため、新たな取組を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・巣穴に設置したカメラによる育雛状況のライブ配信の実施</li> <li>・解説イベント「マゼランペンギンのヒナのおはなし～公開体重測定～」の実施（期間中の土日のみ）</li> </ul>

(2) 特別展・企画展の実施状況

【令和3年度】

事業内容	期 間	内 容
マンスリー水槽の設置	4月3日(土)～ 3月27日(日)	学習機会の増加、話題創出を図るための新規企画として、月単位でテーマを設定し展示を更新するマンスリー水槽の設置を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月：花見の団子（ダンゴウオ）</li> <li>・5月：端午の日の甲冑（グソクムシ）</li> <li>・6月：田植え（二ホンアマガエルなど）</li> <li>・7月：海の危険な生きもの（ゴンズイ、ハナオコゼ、ミノカサゴ、アイゴなど）</li> <li>・8月：オリンピックのメダル（オニオコゼの黄変個体）</li> <li>・9月：中秋の名月（クラゲ）</li> <li>・10月：秋の味覚「栗」（ウニ）</li> <li>・11月：11/11 チンアナゴの日（チンアナゴ）</li> <li>・12月：クリスマス（クリスマスアンティースなど）</li> <li>・1月：干支「寅」、正月（トラウツボなど）</li> <li>・2月：バレンタイン（チョコレートグラミーなど）</li> <li>・3月：春の訪れ（チョウチョウウオなど）</li> </ul>
特別展「マゼランペンギン展」の実施	6月19日(土)～ 9月5日(日)	マゼランペンギンをテーマとして、衣食住の観点から生態や特徴などをパネルで紹介するとともに、繁殖期には育雛の様子を映像で紹介した。

アート作品展「ART OF REBORN」の実施	8月1日(日)～ 9月26日(日)	「なおえつうみまちアート」の開催にあわせ、作家による水生生物をテーマとした作品の展示を実施した。 ・サンドアート：エントランスにおいて展示 ・廃材アート：館内において展示
特別展「おかえりサーモン」の実施	10月23日(土)～ 12月12日(日)	市内の桑取川、名立川がサケ遡上河川であることから、サケの生態や人間との関わりについて更なる理解を促すための展示を教育プログラムと併せて実施した。 ・サケ科魚類（サケ、ヤマメ、ニジマス、ミユキマス（三倍体ニジマス））の展示 ・解説パネル（サケの生態やサケを取り巻く問題など）の展示 ・サケに関するクイズラリーの実施 ・他施設と連携した情報発信の実施
企画展「生きものたちの求愛大作戦」の実施	2月5日(土)～3 月14日(月)	バレンタインにちなみ、生物の求愛行動について、パネルや映像により紹介する展示を実施した。

【令和4年度】

事業内容	期 間	内 容
マンスリー水槽の設置	前年度3月26日 (土)～	学習機会の増加、話題創出を図るための企画として、月単位でテーマを設定し展示を更新するマンスリー水槽を設置し、情報発信を行っている。 ・4月：観桜会（サクラダイ） ・5月：端午の節句（カブトガニ） ・6月：梅雨（クロサンショウウオ） ・7月：夏祭り（キンギョ）
特別展「もっと知って！うみがたりのゴマフアザラシ展」の実施	4月29日(金)～ 7月10日(日)	1月から新規個体の飼育展示を開始し、繁殖も期待されているゴマフアザラシをテーマとし、生態や特徴、近縁種などについて紹介するパネル展示を実施した。
企画展「まるっとキュンです ダンゴウオとなかまたち」の実施	4月29日(金)～ 6月30日(木)	ダイバーなどに人気があり、水族博物館のマスコットフィッシュの候補でもあるダンゴウオ科魚類をテーマとした展示を実施した。 ・展示生物：ダンゴウオ、コンペイトウ、ホテイウオ

## (3) その他展示や活動の状況

## 【令和3年度】

事業内容	期 間	内 容
ユウレイイカの展示	5月15日(土)・16日(日)	上越地先で捕獲されたユウレイイカを冷凍標本として展示した。
マゼランペンギンの給餌解説「GO!GO!EAT!」の実施	6月19日(土)～9月5日(日)	給餌の観点からマゼランペンギンの生態や特徴について理解を促すための給餌解説を実施した。
令和3年生まれのマゼランペンギングループ名の募集、発表	募集:8月1日(日)～22日(日) 発表:9月23日(木)	水族博物館で誕生したマゼランペンギンに対する愛着を育むため、入館者を対象として令和3年生まれのマゼランペンギングループ名を募集し、応募総数1,367通の中から、グループ名を「ケンペンズ」に決定し、発表した。
うみがたりカレッジ公開講座「特大ヒラメの給餌解説」の実施	8月8日(日)～	タッチングプールにおいて飼育展示している大型ヒラメへの給餌をとおして、ヒラメの生態や摂餌に関する解説を開始した。
ペンギンアート展の実施	9月17日(金)～10月10日(日)	コロナ禍により「マゼランペンギンクラフトフェスタ」が開催中止となったことから、作品発表の場として、マゼランペンギンにちなんだアート作品を募集し、館内で展示した。
ハナデンシャの展示	10月14日(木)～11月15日(月)	鉄道の日(10月14日)に合わせ、電車を連想させるハナデンシャの展示を実施した。
「上越市教育コラボ2021 学び愛フェスタ」への参画	11月20日(土)・21日(日)	教育イベント「上越市教育コラボ2021 学び愛フェスタ」において、海洋ゴミ(マイクロプラスチック)に関する展示を実施した。
早朝開館「ハッピーモーニング2022」の実施	2月25日(金)～27日(日)	年間パスポート所持者の優待と入館促進を図るため、通常開館前の時間帯に年間パスポート所持者を対象として、ドルフィンパフォーマンスをはじめとする特別プログラムを含めた早朝開館を実施した。
夜間開館「大人のおひとりさま水族館」の実施	3月26日(土)	コロナ禍における施設安全性のPRと利用促進を図るため、通常閉館後の時間帯に一人での入館を条件として、ドルフィンパフォーマンスやレクチャーなど、特別プログラムを含めた夜間開館を実施した。

【令和4年度】

事業内容	期 間	内 容
バンドウイルカのマンズリー遊具の作製	4月1日(金)～	バンドウイルカの飼育展示環境の更なる充実と動物福祉の向上を図るため、月替わりで行動目標を定めた遊具を作製し運用しており、当該月の運用結果を入館者に紹介するとともに、次月の遊具の作製にいかしている。
「年パス限定！うみがたり4周年前夜祭」の実施	6月25日(土)	開館4周年を迎えるに当たり、年間パスポート所持者の優待と入館促進を図るため、通常閉館後の時間帯に年間パスポート所持者を対象として、ドルフィンパフォーマンスやレクチャーなどの特別プログラムを含めた夜間開館を実施した。
「マゼランペンギンクラフトフェスタ上越 2022」への参画	6月25日(土)・26日(日)	マゼランペンギンや水生生物をテーマとした手作りアート作品が集結する「マゼランペンギンクラフトフェスタ上越 2022」に実行委員として参画した。

## 2 教育普及事業

### (1) 教育プログラム（定期実施）

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策として一部プログラムを休止したが、オンライン形式の「リモートバックヤードツアー」、屋外で環境学習、海岸清掃を行う「エコもっとFree」「エコもっと」をコロナ禍に対応した新規プログラムとして実施した。

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の状況や社会動向を踏まえ、感染症対策を徹底したうえで、全てのプログラムを実施している。

区 分	プログラム	令和3年度		令和4年度(6月末現在)	
		団体数	人数	団体数	人数
社会教育プログラム(個人)	バックヤードツアー	—	休止	—	512
	ナイトミュージアム	—	休止	—	0
	自由研究支援	—	休止	—	0
	エコもっとFree	—	48	—	75
社会教育プログラム(団体)	バックヤードツアー	—	—	1	9
	館内ガイド	—	—	1	3
	レクチャー	2	59	0	0
学校団体向けプログラム	バックヤードツアー	休止		7	160
	リモートバックヤードツアー	6	217	1	27
	館内ガイド	休止		1	14
	レクチャー	49	2,284	8	734
	職場体験	休止		0	0
	職業インタビュー	休止		0	0
	出張授業	8	330	0	0
	エコもっと	0	0	1	41

## (2) その他のプログラム（不定期実施）

令和3年においては、特別展「おかえりサーモン」の実施にあわせ、サケをテーマとした参加体験型プログラムを実施した。

令和4年度においては、今後のプログラム実施を検討中である。

### 【令和3年度】

事業内容	期 間	内 容
うみがたりカレッジ出張講座「サケの遡上観察」の実施	11月13日(土)	桑取川漁業協同組合と連携し、サケの遡上について学習する参加体験型プログラムを実施した。
うみがたりカレッジ出張講座「サケの人工授精見学」の実施	11月13日(土)	桑取川漁業協同組合と連携し、サケの人工増殖について学習する参加体験型プログラムを実施した。
うみがたりカレッジ出張講座「いってらっサーモン」の実施	3月19日(土)～ 3月21日(月)	サケの人工増殖について理解を促すために、桑取川において、水族博物館で孵化したサケの稚魚約300個体の放流体験を実施した。

## 3 調査研究

### 【令和3年度】

- ・マゼランペンギンの繁殖に関する調査
- ・新潟県におけるサクラダンゴウオの分布に関する調査
- ・サクラダンゴウオの飼育に関する研究
- ・マンボウの飼育展示に向けた、予備水槽における飼育試験
- ・鯨類の飼育環境に関する調査

### 【令和4年度】

- ・マゼランペンギンの繁殖に関する調査
- ・上越地方におけるサクラダンゴウオの分布に関する調査
- ・サクラダンゴウオの長期飼育、繁殖に関する研究
- ・上越市内におけるキタノアカヒレタビラの保全に関する調査
- ・鯨類の飼育環境に関する調査

## 4 施設・設備の機能向上

水族博物館の魅力や機能をより一層高めるために、展示解説の充実や飼育展示設備の機能向上に取り組んだ。

### 【令和3年度の主な取組】

項 目	内 容
内照式解説板増設	展示解説の充実により入館者の学習意欲に応えるとともに、学習効果の向上を図るため、昨年度に引き続き、内照式の解説板の作製、設置を実施した。

イルカプール、ふれんどプールにおける日除けの設置	水族博物館における鯨類飼育環境の検証結果を踏まえ、イルカプール、ふれんどプールに日除けを設置し、運用を開始した。
イルカプールにおける防風設備の設置	水族博物館における鯨類飼育環境の検証結果を踏まえ、イルカプールにガラス壁（常設）と防風ネット（冬期間のみ）を設置し、運用を開始した。
マゼランペンギンミュージアムにおける土壌入替	マゼランペンギンミュージアムの排水性を改善し、飼育展示環境の向上を図るため、土壌の入れ替えを実施した。

【令和4年度の主な取組】

令和4年度においては、現在、解説板増設やマゼランペンギンミュージアムにおける排水設備設置などの取組を進めているところである。

5 情報発信

施設の認知度向上やブランド化を図り入館促進に繋げるため、さまざまな媒体を通して継続的に情報発信を行っている。

【令和3年度】

単位：件

区分	情報発信	媒体取扱					合計
		テレビ	新聞	ラジオ	WEB	雑誌他	
4月	3	5	13	5	26	1	50
5月	3	6		6	9	0	30
6月	3	9	17	5	35	0	66
7月	6	13	13	6	16	3	51
8月	0	5	17	6	15	0	43
9月	2	8	11	5	15	4	43
10月	1	6	11	5	15	1	38
11月	2	11	11	6	13	0	41
12月	3	8	11	7	23	0	49
1月	1	7	14	5	26	1	53
2月	2	7	13	5	18	2	45
3月	4	11	21	7	60	3	102
合計	30	96	161	68	271	15	611

【令和4年度】

単位：件

区分	情報発信	媒体取扱					合計
		テレビ	新聞	ラジオ	WEB	雑誌他	
4月	1	4	7	6	56	4	77
5月	3	6	7	4	29	0	46

6月	1	10	8	7	49	4	78
合計	5	20	22	17	134	8	201

## 6 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員のマスク着用や館内消毒、入館者への注意喚起など基本的な防疫措置のほか、入館制限や臨時休館などの対策を実施した。

### 【令和3年度】

年月日	対 応	内 容
令和2年5月11日(月)～	タッチングプールの利用制限	タッチングプールの入水を禁止
	教育プログラムの休止	全ての教育プログラムを休止
令和2年7月1日(水)～ 令和3年4月28日(水)	館内滞留者数の制限	館内滞留者の上限を900人に制限
令和3年9月1日(火)～	一部プログラムの再開	レクチャー、出張授業を再開
令和2年11月21日(土) ～令和3年4月24日(土) 令和3年11月20日(土) ～令和4年4月5日(火)	イルカホールの入場者数制限	水中ドルフィンパフォーマンス実施時の入場者数の上限を80人/回に制限
令和3年1月1日(金)～	新規プログラムの追加	学校団体の要望を踏まえ、リモートバックヤードツアーを開始
令和3年4月25日(日)～ 11月19日(金)	イルカスタジアムの入場者数制限	ドルフィンパフォーマンス実施時の入場者数の上限を270人/回に制限
令和3年4月29日(木)～	館内滞留者数の制限の緩和	館内滞留者の上限を1,200人に変更
令和3年4月29日(木)～ 5月5日(水)、7月22日 (木)～25日(日)、8月7日 (土)～15日(日)	インターネットを活用した入館予約の実施	館内滞留者を制限する中、入館待ちや混乱を防ぐため、インターネットを活用した入館予約システムを運用
令和3年8月27日(金)～ 30日(月)	職員の新型コロナウイルス感染症感染に伴う臨時休館の実施	水族博物館職員の新型コロナウイルス感染症感染を受け、8月27日は途中休館、8月28日～8月30日は臨時休館を実施
令和3年9月3日(金)～ 16日(木)	県特別警報発令に伴う臨時休館の実施	県の特別警報発令を受け、臨時休館を実施

### 【令和4年度】

年月日	対 応	内 容
令和2年5月11日(月)～	タッチングプールの利用制限	タッチングプールの入水を禁止
令和3年4月29日(木)～	館内滞留者数の制限	館内滞留者の上限を1,200人に制限

令和3年11月20日(土)～令和4年4月5日(火)	イルカホールの入場者数制限	水中ドルフィンパフォーマンス実施時の入場者数の上限を80人/回に制限
令和4年4月1日(金)～	全教育プログラムの再開	コロナ禍の動向を踏まえ、感染症対策を徹底したうえで休止していた全ての教育プログラムを再開
令和4年4月6日(水)～	イルカスタジアムの入場者数制限の緩和	ドルフィンパフォーマンス実施時の入場者数の上限を400人/回に変更
令和4年4月29日(金)～5月8日(日)	インターネットを活用した入館予約の実施	館内滞留者を制限する中、入館待ちや混乱を防ぐため、インターネットを活用した入館予約システムを運用

## 7 入館者数

【令和3年度】

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有料	16,319	21,602	18,049	36,431	38,097	10,752	24,471	26,755	13,315	7,308	6,827	20,258
無料	168	209	185	854	668	230	758	554	303	83	81	803
合計	16,487	21,811	18,234	37,285	38,765	10,982	25,229	27,309	13,618	7,391	6,908	21,061

区分	合計
有料	240,184
無料	4,896
合計	245,080

### 繁忙期の入館者数

- ・ゴールデンウィーク期間（4月29日～5月5日）：11,809人
- ・お盆期間中（8月7日～8月16日）：21,634人
- ・年末年始（12月28日～1月3日）：3,675人

【令和4年度】

単位：人

区分	4月	5月	6月	合計
有料	24,342	37,547	25,576	87,465
無料	177	175	312	664
合計	24,519	37,722	25,888	88,129

【開館以来の入館者数】

単位：人

区分	開館1年目 (H30/6/26～R1/6/25)	開館2年目 (R1/6/26～R2/6/25)	開館3年目 (R2/6/26～R3/6/25)	開館4年目 (R3/6/26～R4/6/25)	合計
有料	888,294	362,117	235,567	271,911	1,757,889
無料	11,308	4,215	4,371	4,997	24,891
合計	899,602	366,332	239,938	276,908	1,782,780

## 8 入館者動向

入館者アンケートの集計結果（令和4年度は6月末時点）

### 【令和3年度】

#### (1) 男女別

単位：％

男性	女性	合計
39.7	60.3	100.0

#### (2) 年齢層別

単位：％

10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
5.7	27.8	20.0	19.6	15.9	7.4	2.2	1.2	0.2	100.0

#### (3) 形態別

単位：％

家族	友人	カップル、夫婦	1人	その他	合計
63.3	8.7	18.0	8.9	1.1	100.0

#### (4) 交通手段別

単位：％

自動車	バス	電車	自転車・徒歩	その他	合計
87.3	1.0	8.4	2.7	0.6	100.0

#### (5) 居住地別

単位：％

上越	県内	長野	富山	その他	合計
21.3	31.2	22.3	3.9	21.3	100.0

### 【令和4年度】

#### (1) 男女別

単位：％

男性	女性	合計
47.5	52.5	100.0

#### (2) 年齢層別

単位：％

10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
4.0	23.0	31.7	14.2	14.9	6.1	5.4	0.7	0.0	100.0

(3) 形態別

単位：％

家族	友人	カップル、夫婦	1人	その他	合計
42.8	15.1	23.2	18.9	0.0	100.0

(4) 交通手段別

単位：％

自動車	バス	電車	自転車・徒歩	その他	合計
77.1	2.0	14.1	3.4	3.4	100.0

(5) 居住地別

単位：％

上越	県内	長野	富山	その他	合計
12.7	40.5	21.5	5.7	19.6	100.0